

校 園 名：愛知教育大学附属名古屋小学校

所在地：〒461-0047 愛知県名古屋市東区大幸南一丁目126番地 電話番号：(052) 722-4616

記載日：平成28年 4月28日(木) 記載者：加藤康博 記載者役職：主幹・総務

本校の校風、おおまかな特色

本校は名古屋の東に位置し、校舎からはナゴヤドームが見える景色のよい場所にあります。交通の便もよく、地下鉄や市バスを利用して通う子どもたちも多くいます。同じ敷地内には、附属幼稚園、附属中学校があり、本校の児童が幼稚園児と共に学習活動に取り組んだり、中学生と委員会活動をしたりするなど、各学校園が連携した取り組みを行っています。



本校の教育は、子どもたちの思いや願いを大切にしながら活動を進め、子どもたちの主体性を育むようにしています。各教科の授業実践の工夫はもちろん、総合学習では、自分の生き方について考えることができる子に迫ることをねらいとして、子どもたちの発達段階に合わせて伸ばしたい力を設定して、担任が教科の枠を越えた自由な発想で授業を構想し、実践しています。また、学級活動の時間を使い、栄養教諭と担任が連携して食事の重要性を伝えたり食文化への関心を高めたりする食育の指導を行っています。

本校の使命

1. 本校の教育目標の達成を図る。
2. 教育の理論的、実践的研究を行う。
3. 大学生との教育実地研究を指導する。
4. 公立学校との教育技術の交流を行う。

教育目標

- ・ 健康で心の豊かな子
- ・ まことを求め正しいことを守る子
- ・ よく考え実践する子
- ・ 人を敬い助け合う子

本校の卒業生の活躍状況

附属名古屋中学校に進学した卒業生の様子を中学校教員との連絡会を通して把握しています。生徒会役員となって学校全体の活動を推進したり、授業中に自分の考えを積極的に発言したりしながら、仲間と共に生き生きと活動し、活躍している様子が伝わってきています。

本校勤務経験者が公立学校・教育委員会などへ戻った後の活躍状況

各地区に戻り、附属小での経験や知識を生かして、学校運営の中核を担ったり、周囲にアドバイスをしたりしながら、リーダー的な存在として活躍しています。

魅力のある、特色のある、先導的な取り組みなどについて

【PTAとの取り組み】

本校では学校とPTAが密接な関わりをもち、PTAが主体となって様々な活動を行っています。

- ・各種委員会



美化委員会
「バラ園の管理」「親子清掃」



厚生委員会
「PTA通学マナー指導」

- ・学年委員会（PTA親子行事）



1・2年生合同親子行事「2015 宇宙の旅」



5・6年生合同親子行事「シャドウアドベンチャー」

【外部人材の活用】

本校では、各教科の授業・総合学習、帰国学級の言語保持活動において、外部の方々を招き、様々な活動を行っています。



総合 2年「名古屋オーシャンズの選手をお招きして」



言語保持活動 帰国学級「外国人大学生をお招きして」

【学校行事】

本校では運動会やお別れ音楽会などの様々な活動を行っています。



運動会（10月）



お別れ音楽会（2月）



「附小っ子まつり」
（6月）



「学年スポーツ大会」
（11月）



「附小展」（9月）



【地域への還元（研究）】【大学との連携】

毎年テーマを設定して授業研究を進めており、共同研究者として大学の先生とも活発に意見を交わしながら授業づくりをしています。

6月には研究発表協議会を開催し、愛知県全域をはじめ、他県からも多くの方に参加していただいています。



授業の様子



研究発表協議会の様子

地域における本校の存在

文部科学省や大学との連携を密にして、先進的な考えを取り入れた授業を実践し、研究発表協議会や各地域の研究会において、その考えを各地域に広げていく使命を果たせるように日々努力しています。

本校の存在意義

本校は、教育実習生の養成にも力を入れています。隣接実習や主免実習だけでなく、基礎実習も行い、大学1年生～大学院生まで、年間350名近くの学生を受け入れて指導し、その中から実際に本採用された学生が多くいます。本校の今までの実績があるため、このような大人数を受け入れられますが、地域の公立学校にこの人数を受け入れてもらうことは、学生を分散させたとしても現状（各学校教員スタッフの年齢層・少子化による一校の学校規模縮小化）を考えると難しいことだと考えます。

また、本校は学習指導要領を基に指導にあたるだけでなく、文部科学省の考えをリサーチし、現状の学習指導要領に縛られず、先進的かつ理論的な試みを行い、その有効性を授業実践を通して検証することが可能です。

本校は、愛知県の中の名古屋地区と尾張地区から、教員が集められ組織されています。それぞれの地区における教育に対する目標や取り組みの内容はさまざまです。当然のことながら、地区ごとに考え方や方法が異なる場合があります。しかし、このような人材交流できる本校のような存在があることで、よりよい方向性を見出すことができ、地域に還元することもできています。

